

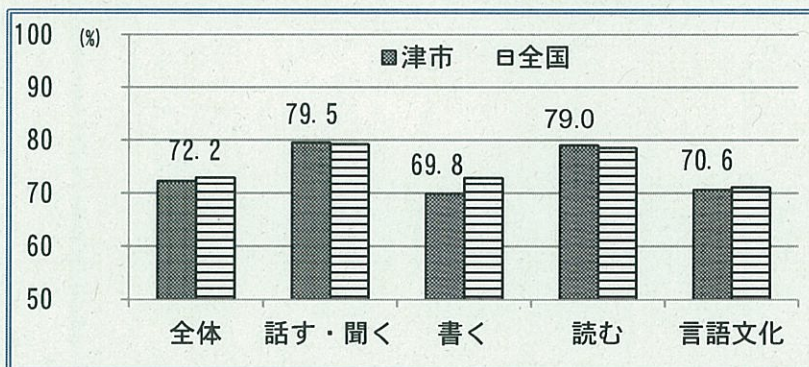
3 各教科における調査結果について

●小学校国語 A「主として知識に関する問題」の調査結果

国語Aの平均正答率について

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)			
			津市	三重県	全国	全国との差
	全体	15	72.2	71.7	72.9	▲ 0.7
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	79.5	78.4	79.2	0.3
	書くこと	2	69.8	71.4	72.8	▲ 3.0
	読むこと	2	79.0	78.0	78.5	0.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	70.6	69.8	71.1	▲ 0.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度					
	話す・聞く能力	1	79.5	78.4	79.2	0.3
	書く能力	2	69.8	71.4	72.8	▲ 3.0
	読む能力	2	79.0	78.0	78.5	0.5
	言語についての知識・理解・技能	10	70.6	69.8	71.1	▲ 0.5
問題形式	選択式	6	76.3	76.4	77.2	▲ 0.9
	短答式	9	69.4	68.6	70.0	▲ 0.6
	記述式					

領域ごとの調査結果については、平均正答率の高い順に「話すこと・聞くこと」が79.5%、「読むこと」が79.0%、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が70.6%、「書くこと」が69.8%でした。



全国との平均正答率と比較すると、「書くこと」において、若干低い状況にあります。

話すこと・聞くこと 問題 2

全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する問題の正答率は、昨年度の類似問題よりも高い79.5%で、一定の改善が見られます。

目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う場合には、得た知識や情報を関連付けて考えることが必要であることから、メモやノートの内容を比較、対照したり、関連のあることをまとめたり、分類したりして、自分の考えに活かすことができるように指導していくことが大切です。

書くこと 問題 3 4

ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する問題の正答率は全

国より約4ポイント低い63.7%でした。書き手の表現の仕方をよりよくするために、読み手の立場から文章を客観的に評価した上で、どのように書き換えればよいのかを具体的に助言することに課題があります。

また、委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する問題の正答率は76.0%でした。目的や意図に応じて、事柄を整理して書くことは概ねできています。

【課題となっている問題】

3

【学年集会のお知らせの下書き】

学年集会のお知らせ
「めざせチャンピオン
じゃんけん列車ゲーム」
5月12日(木)、8時25分から、
体育館で行います。

◆ルール説明

二人でじゃんけんをして、負けた人は勝った人の後ろにならんで列を作り、勝った人は他の列の先頭の人を見つけてじゃんけんをし、それを全員が一列になるまでくり返して、最後まで先頭にいた人がチャンピオンです。

↓

書き直したルール説明

- ① 二人でじゃんけんをします。
- ② 負けた人は勝った人の後ろにならび列を作ります。
- ③ 勝った人は他の列の先頭の人を見つけてじゃんけんをします。
- ④ ②、③を全員が一列になるまでくり返します。
- ⑤ 最後まで先頭にいた人がチャンピオンです。

次は、大西さんが作った「学年集会のお知らせの下書き」です。大西さんは、友達に助言をもらって、下書きの中の「◆ルール説明」を書き直しました。その助言の内容として適切であると考えられるものを、あとの1から5までのの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 ゲームの手順が分かりやすいように、内容のまとまりごとに番号をつけた方がよい。
- 2 多くの人に伝えるので、文章を呼びかけるような表現にした方がよい。
- 3 だれにでも分かるように、難しい言葉をやさしい言葉にした方がよい。
- 4 ゲームの手順が正しくわかるように、接続の言葉を使った方がよい。
- 5 一文が長くて内容がぼやけにくいので、いくつかの文に分けた方がよい。

読むこと 問題 5 6

公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する問題の正答率は93.5%でした。

また、『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する問題の正答率は64.5%でした。

物語を読む際、登場人物の行動や会話など、複数の叙述を基にししながら、それぞれの登場人物の特徴や性格を押さえ、人物像を捉えて読むことに課題があります。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 問題 1 7 8

漢字の読み書きでは、「読み」が86.1%、「書き」が75.8%の正答率でした。漢字については、特に「書き」に課題が見られ、他の漢字に比べ、「相談」という漢字を正しく書くことができない児童が多くみられました。

文字を書く場合、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めることができるかどうかについて問われる問題については、80.7%の正答率でした。

また、平仮名で表記されたものをローマ字で書く問題は、45.9%、ローマ字で表記されたものを読む問題は47.5%の正答率でした。

特に「あさって→asatte」の正答率は37.7%でした。濁音、促音、拗音の入る言葉をローマ字で正しく書いたり読んだりすることに課題があるため、音声と関係付けながら、規則性があることに気づかせ、身に付けることができるよう指導することが必要です。

【課題となっている問題】

8

例) [いぬ] ⇨ inu

1 [りんご] ⇨ _____

2 [あさって] ⇨ _____

3 hyaku ⇨ [_____]

※解答は、解答用紙に書きましょう。

次は1と2の言葉で、例のように、ローマ字でいぬに書きましよう。また3のローマ字はひらがなでいぬに書きましよう。

●小学校国語 B「主として活用に関する問題」の調査結果

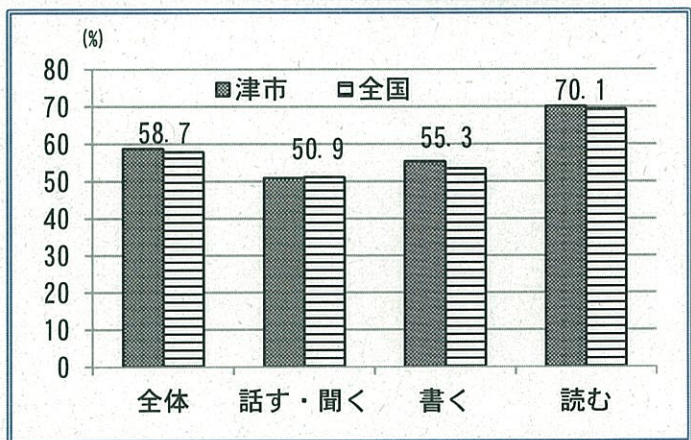
国語Bの平均正答率について

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)			
			津市	三重県	全国	全国との差
全体		10	58.7	58.1	57.8	0.9
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	50.9	49.7	51.1	▲ 0.2
	書くこと	6	55.3	54.6	53.4	1.9
	読むこと	3	70.1	70.3	69.3	0.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項					
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	57.0	56.4	54.7	2.3
	話す・聞く能力	3	50.9	49.7	51.1	▲ 0.2
	書く能力	6	55.3	54.6	53.4	1.9
	読む能力	3	70.1	70.3	69.3	0.8
	言語についての知識・理解・技能					0.0
問題形式	選択式	6	59.9	59.2	59.9	0.0
	短答式					
	記述式	4	57.0	56.4	54.7	2.3

領域ごとの調査結果については、平均正答率の高い順に「読むこと」が70.1%、「書くこと」が55.3%、「話すこと・聞くこと」が50.9%でした。

全国の平均正答率と比較すると、ほぼ横並びですが、「書くこと」は全国をやや上回っています。

大問ごとの正答率は、「話の展開に応じて質問し、必要な情報を得る」が50.9%、「活動報告文を書く」は56.1%、「将来なりたい職業について調べ、紹介する」が70.1%でした。



話の展開に応じて質問し、必要な情報を得る 問題 1

「スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する」問題は50.0%、「スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する」問題は51.2%の正答率でした。

また、「スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く」問題では、正答の条件

【課題となっている問題】

1

スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する問題

スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する問題

スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く問題

正答の条件

スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く問題

正答の条件

スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く問題

正答の条件

を満たしている解答が2種類あり、「地産地消についてどのように考えているか」について書かれた答えの正答率は37.0%、「地産地消についてどのように考えているのか」以外の内容について書かれた答えの正答率は、14.4%でした。

平成25年度の類似問題の正答率は、25.6%であり、目的や意図に応じ取材した内容を整理しながら記事を書くことにやや改善が見られますが、引き続き課題があります。質問したいことを整理して、インタビューメモを作成したり、相手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問したりすることへの指導が必要です。

活動報告文を書く 問題 2

設問一のグラフを基に、分かったことを的確に書くことができるかどうかを選ぶ問題の正答率は43.4%でした。凡例を基にしながら、グラフ内の結果をそれぞれ関係付けながら考察することに課題があります。

「早ね早起き」活動の課題について〈図2：次の日に学校がない日は、学校のある日に比べて、ねる時間が2時間以上おそくなることはありますか。〉の結果を基に書く問題の正答率は53.1%であり、「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2：ねる時間が2時間以上おそくなる理由は何ですか。〉の結果を基に書く問題の正答率は67.7%でした。

目的や意図に応じて、表やグラフを基に自分の考えを書くことに課題があります。このことから、社会科や算数科等で学習した図表やグラフの読み方を確認し、読み取ったことを的確に表現することができるように指導する必要があります。

また、観察したり、実験したり、調査等を行ったりして得られた結果などの事実を図表やグラフで示し、自分がどのように読み取って分析したのか、そこからどのような考えを持ったのかなど、具体的に記述する学習が必要です。

将来なりたい職業について調べ、紹介する 問題 3

「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する問題の正答率は76.0%、「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する問題の正答率は78.6%でした。

また、「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く問題の正答率は、55.7%であり、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題があります。

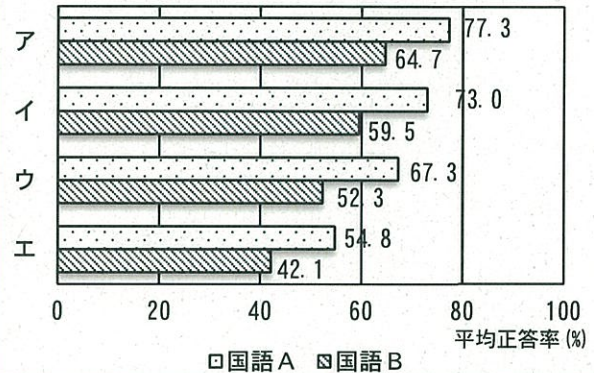
目的に応じて、文章の内容を的確に押さえるとは、何のために、どのようなことが必要か等を明確にすることが大切です。その際、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方や巧みな叙述などについて、注意して読むことを指導する必要があります。

●小学校国語 「児童質問紙」から見える国語の学習について

国語の授業に関して「自分の考えを書くと
き、考えの理由が分かるように気を付けて書
いている」と回答した児童は 33.4%で、国
語の問題の正答率は、国語A(77.3%)、B
(64.7%)ともに高くなっています。

その他、「意見などを発表するとき、うま
く伝わるように話の組み立てを工夫してい
る」、「目的に応じて資料を読み、自分の考え
を話したり、書いたりしている」と答えてい
る児童の方が正答率が高い傾向があり、示さ
れた文章を読んで理解するだけでなく、知識
や経験と関連付けながら、筋道を立てて話し
たり、書いたりする力が定着していると言え
ます。

【68】自分の考えを書くと、考えの理由
が分かるように気を付けて書いている



- ア 当てはまる (33.4%)
- イ どちらかといえば当てはまる (41.1%)
- ウ どちらかといえば当てはまらない (19.4%)
- エ 当てはまらない (5.8%)

●小学校国語 学習指導改善のポイント

主に知識に関する調査結果から

➤ローマ字の規則性を押さえる

ローマ字には、ヘボン式や訓令式などがあることに配慮しながら、ローマ字表記
を使って仮名五十音と対応した指導をすることが大切です。

特に、ローマ字の読み書きについては、日本語の音節が子音と母音の組み合わせ
であることを意識し、五十音表の規則性を押さえる必要があります。

また、濁音、半濁音、長音、拗音、促音、撥音などについても、音声と関係付け
ながら規則性があることに気づき、身に付けることができるように指導することが
大切です。

平成 28 年度調査<津市の平均正答率 (全国)>

ringo <54.0% (53.2%)>

asatte <37.7% (41.8%)>

hyaku <47.5% (50.7%)>

また、ローマ字の指導については、第 3 学年の指導事項となっており、早い段階
でローマ字を使った読み書きができるようになっていきます。当該学年での学習にと
どまらず、他教科などでコンピュータを使った学習と関連付けるなどして、繰り返し
読んだり、書いたりする機会を増やす必要があります。

主に活用に関する調査結果から

➤ 相手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する

インタビューを行う場合、メモを見ながら、想定したとおりに質問を進めていくだけでよいわけではなく、インタビューメモを基にしながらも、実際の話の展開に応じて質問する必要があります。

そのためには、インタビューの目的に応じて、相手の意図は何か、自分の予想との違いは何か、自分の考えとの共通点や相違点は何かなどを観点として、相手の話を注意深く聞くことができるように指導することが大切です。その際、相手の話に同意した上で質問したり、相手の話を言い換えてから質問したり、話題を変えて質問したりするなどの質問の仕方を取り上げて指導することが考えられます。

➤ 目的や意図に応じ、図表やグラフを用いて、自分の考えを書く

日常の中で、図表やグラフを用いて自分の考えを書く際には、図表やグラフなどから目的に応じて必要な情報を取り出し、比較したり関係付けたりしながら自分の考えを明確にすることが重要です。

具体的には、観察したり、実験したり、調査等を行ったりして得られた結果などの事実を図表やグラフで示し、自分がどのように読み取って分析したのか、そこからどのような考えをもったのかを具体的に記述するような学習が重要です。

その際、図表やグラフの何に注目するのか、図表やグラフの中にあるどの数値や言葉を使って書くことが効果的であるのかを検討する必要があります。また、用いた図表やグラフとその分析内容が、自分の考えを明確に伝えるための根拠となっているのかを確かめていくことも大切です。

➤ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえるとは、何のために、どのようなことが必要なのかなどを明確にすることです。その際、文章に書かれている話題、理由や根拠になっている内容、構成の仕方や巧みな叙述などについて注意して読むことが大切です。

また、自分の考えを明確にするとは、筆者の意図や思考を想定しながら文章全体の構成を把握し、筆者の考えに対する自分の考えを明確にしていくことです。その際、自分の知識や経験、考えなどと関係付けながら読むことが大切です。

具体的には、読む目的によって本や文章の活用の仕方が変わり、そのため引用したり要約したりする部分が変わるということを実感できるように継続的に指導することが考えられます。